

## IV 第 52 回市政に関する世論調査の結果

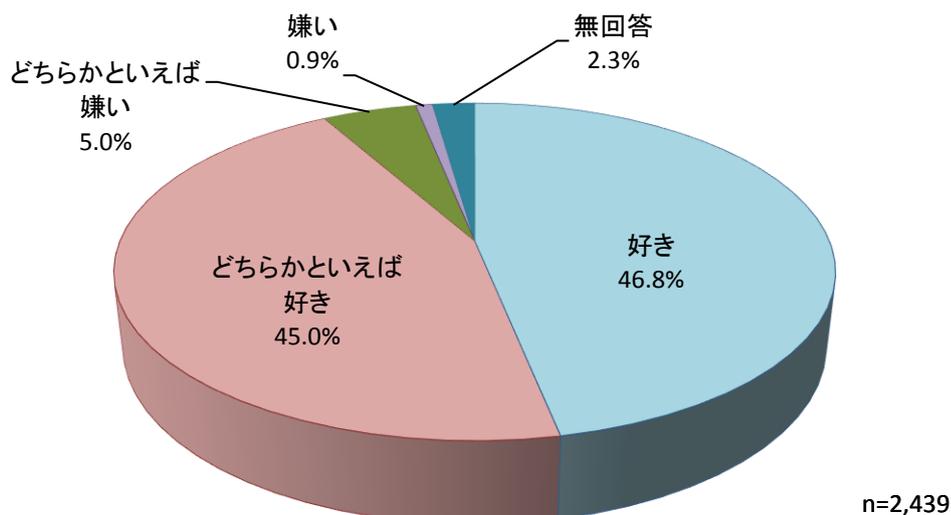
### 1. 宇都宮市に対する感じ方について

#### (1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が9割強

問 1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,439
1	好き	46.8%
2	どちらかといえば好き	45.0%
3	どちらかといえば嫌い	5.0%
4	嫌い	0.9%
	(無回答)	2.3%

<図IV-1-1>全体



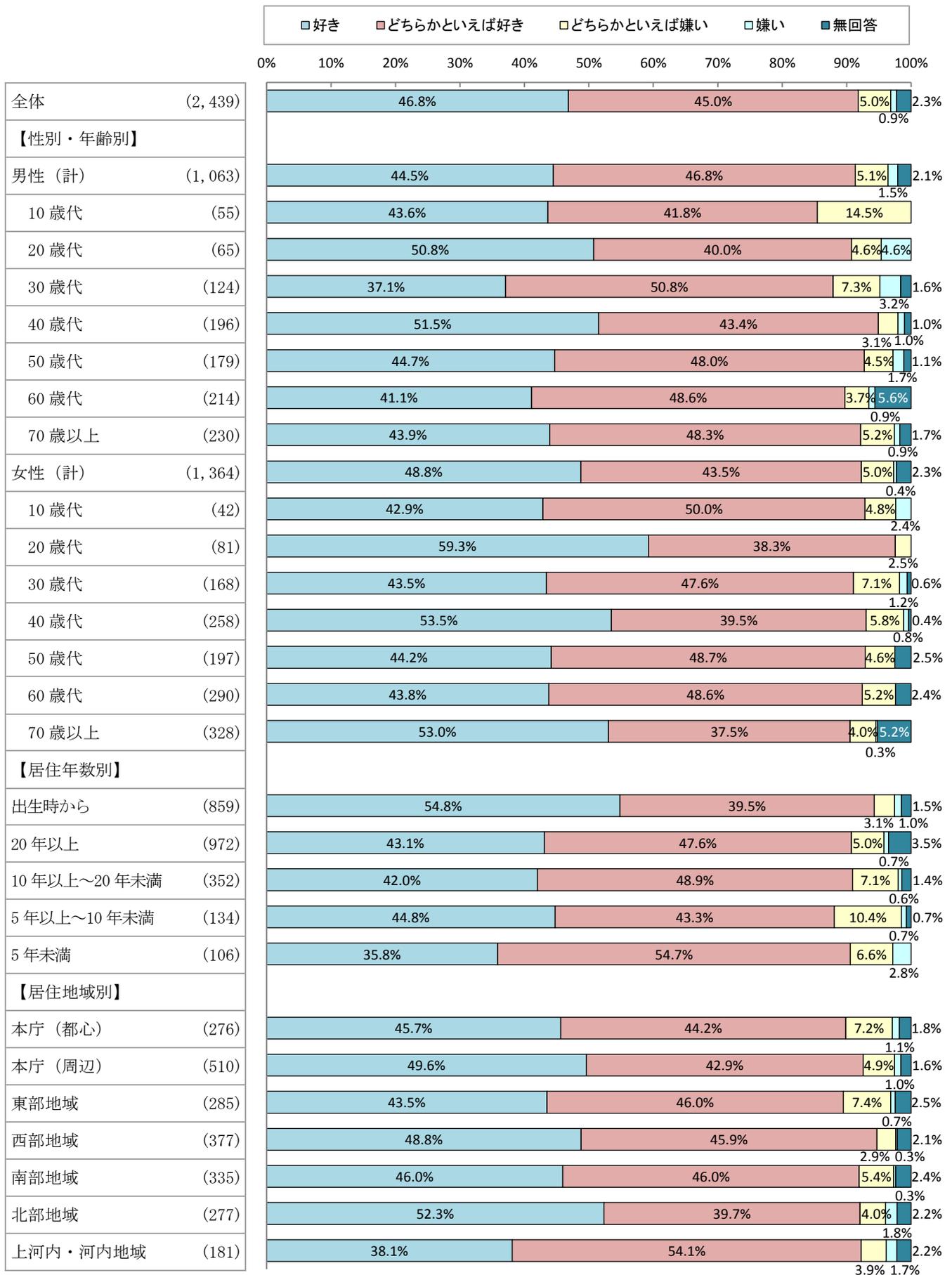
宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が46.8%、「どちらかといえば好き」が45.0%で、これらを合わせた【好き（計）】が91.8%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」5.0%、「嫌い」0.9%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は5.9%と1割に満たない。(図IV-1-1)

性別・年齢別で見ると、【好き（計）】は<女性/20歳代>が97.6%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が94.9%であった。【好き（計）】は、性別・年齢別に関係なく8割半ばを超えている。一方、【嫌い（計）】は<男性/10歳代>が14.5%で最も高く、<男性/30歳代>が10.5%、<男性/20歳代>が9.2%と続いている。(図IV-1-2)

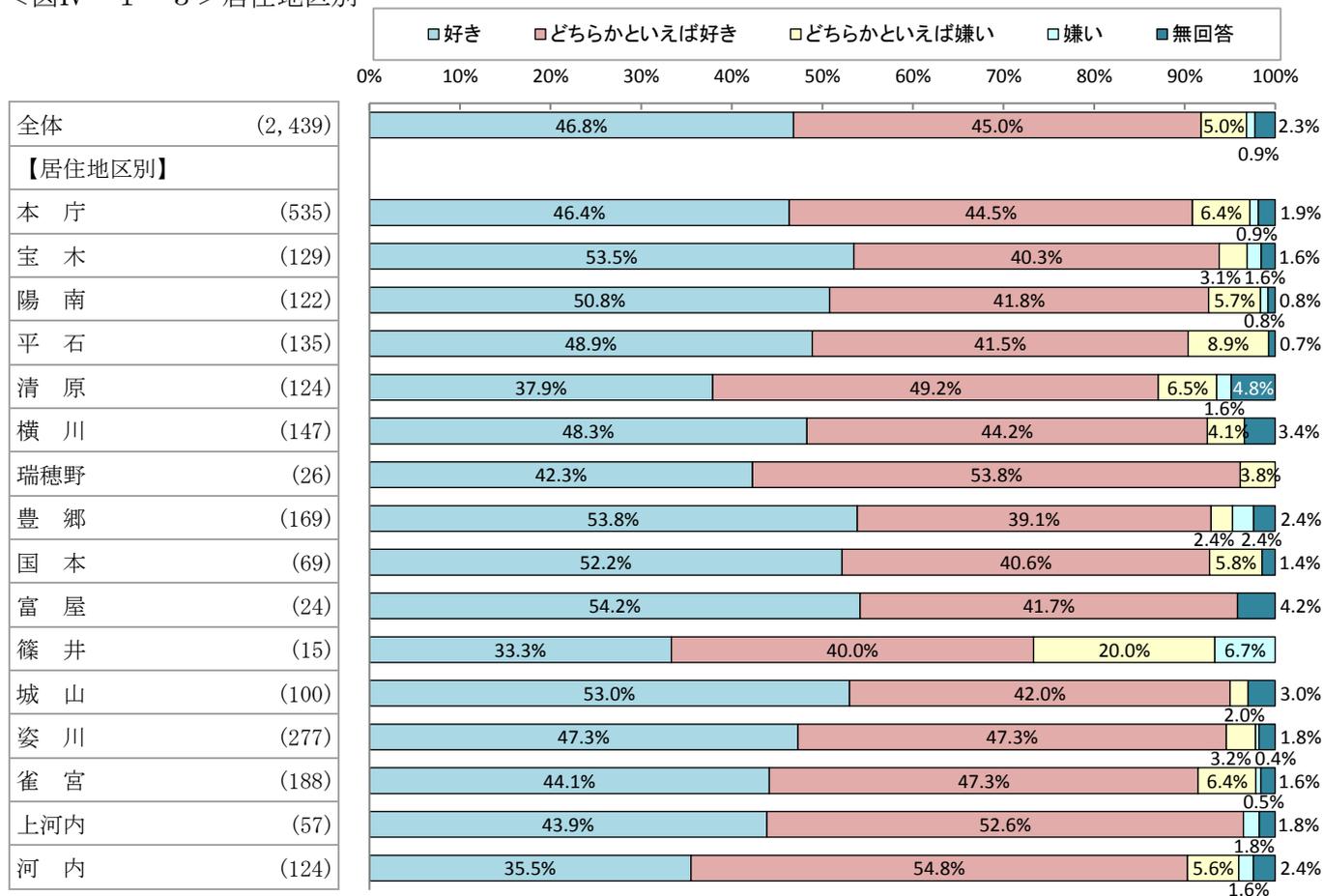
居住年数別で見ると、【好き（計）】は<出生時から>が94.3%で最も高く、次いで<20年以上>が90.7%であった。一方、【嫌い（計）】は<5年以上～10年未満>が11.1%で最も高く、次いで<5年未満>が9.4%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は<西部地域>が94.7%で最も高く、次いで<本庁（周辺）>が92.5%であった。一方、【嫌い（計）】は<本庁（都心）>が8.3%で最も高く、次いで<東部地域>が8.1%であった。(図IV-1-2)

<図IV-1-2>性別・年齢別/居住年数別/居住地域別



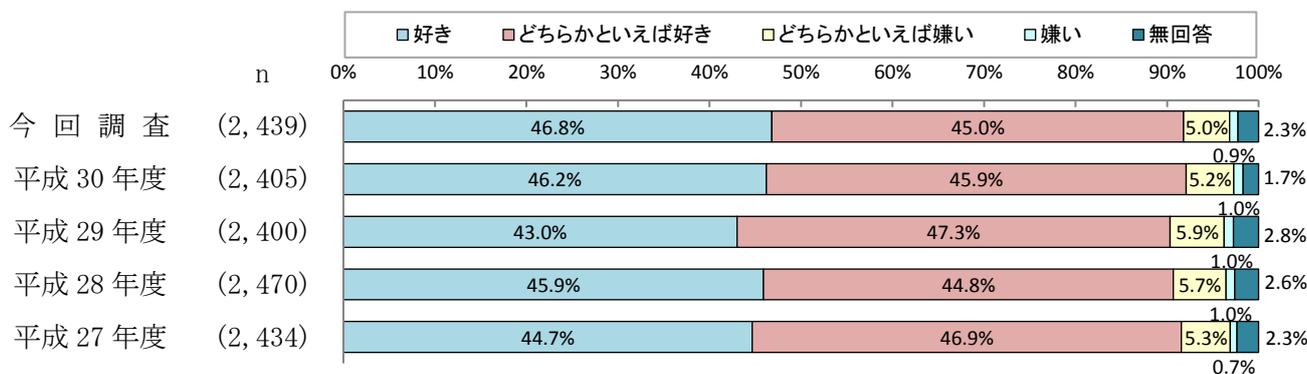
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
令和元年度	46.8%	45.0%	5.0%	0.9%	2.3%
平成30年度	46.2%	45.9%	5.2%	1.0%	1.7%
平成29年度	43.0%	47.3%	5.9%	1.0%	2.8%
平成28年度	45.9%	44.8%	5.7%	1.0%	2.6%
平成27年度	44.7%	46.9%	5.3%	0.7%	2.3%

<図IV-1-4>経年比較



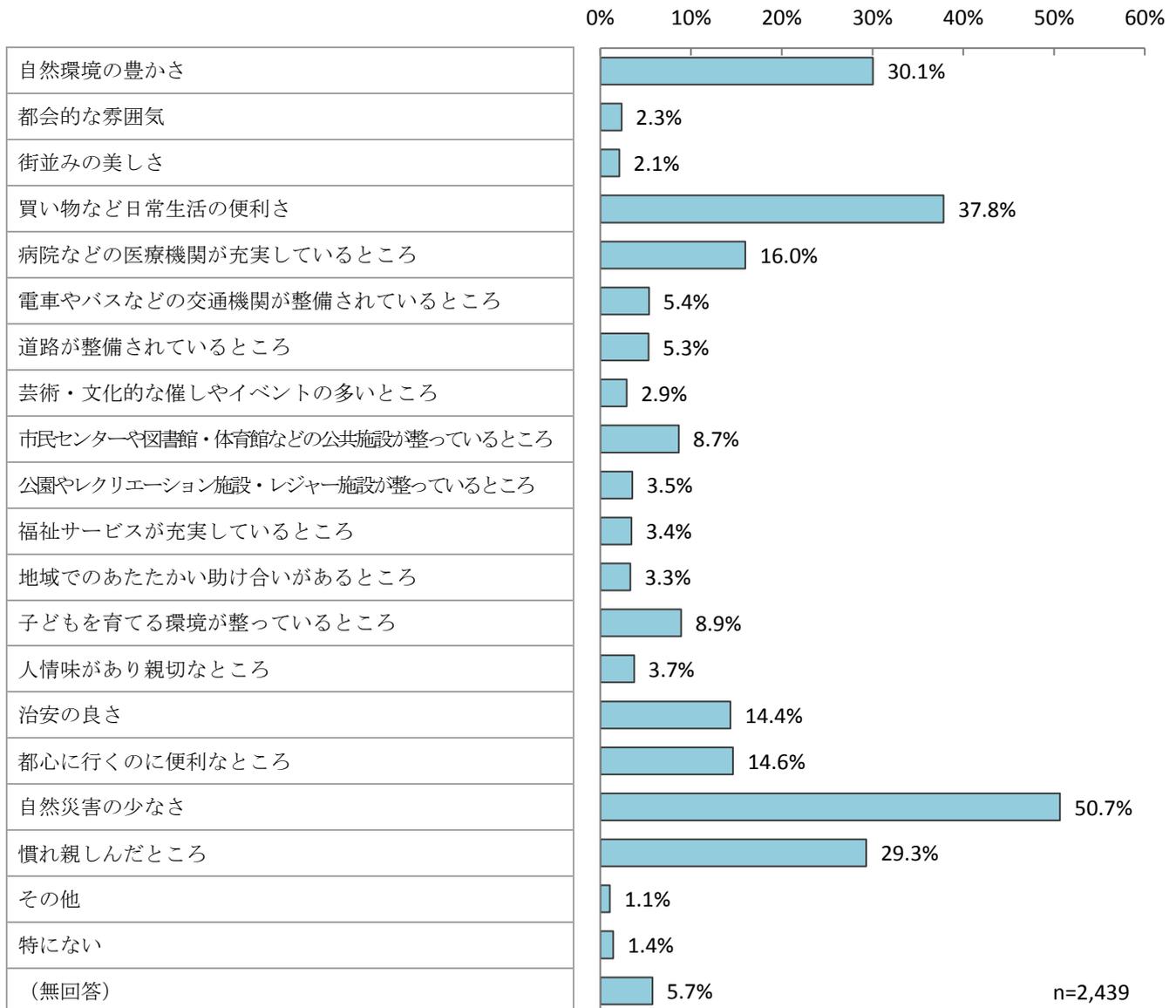
【好き（計）】及び【嫌い（計）】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。（図IV-1-4）

## (2) 好きな理由

### ◇ 「自然災害の少なさ」が約5割

問2 宇都宮市の好きだと思うところをあげてください。		(○は3つまで)
		n=2,439
1	自然環境の豊かさ	30.1%
2	都会的な雰囲気	2.3%
3	街並みの美しさ	2.1%
4	買い物など日常生活の便利さ	37.8%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	16.0%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	5.4%
7	道路が整備されているところ	5.3%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.9%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	8.7%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.5%
11	福祉サービスが充実しているところ	3.4%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.3%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	8.9%
14	人情味があり親切なところ	3.7%
15	治安の良さ	14.4%
16	都心に行くのに便利なところ	14.6%
17	自然災害の少なさ	50.7%
18	慣れ親しんだところ	29.3%
19	その他	1.1%
20	特にない	1.4%
	(無回答)	5.7%

<図IV-1-5>全体



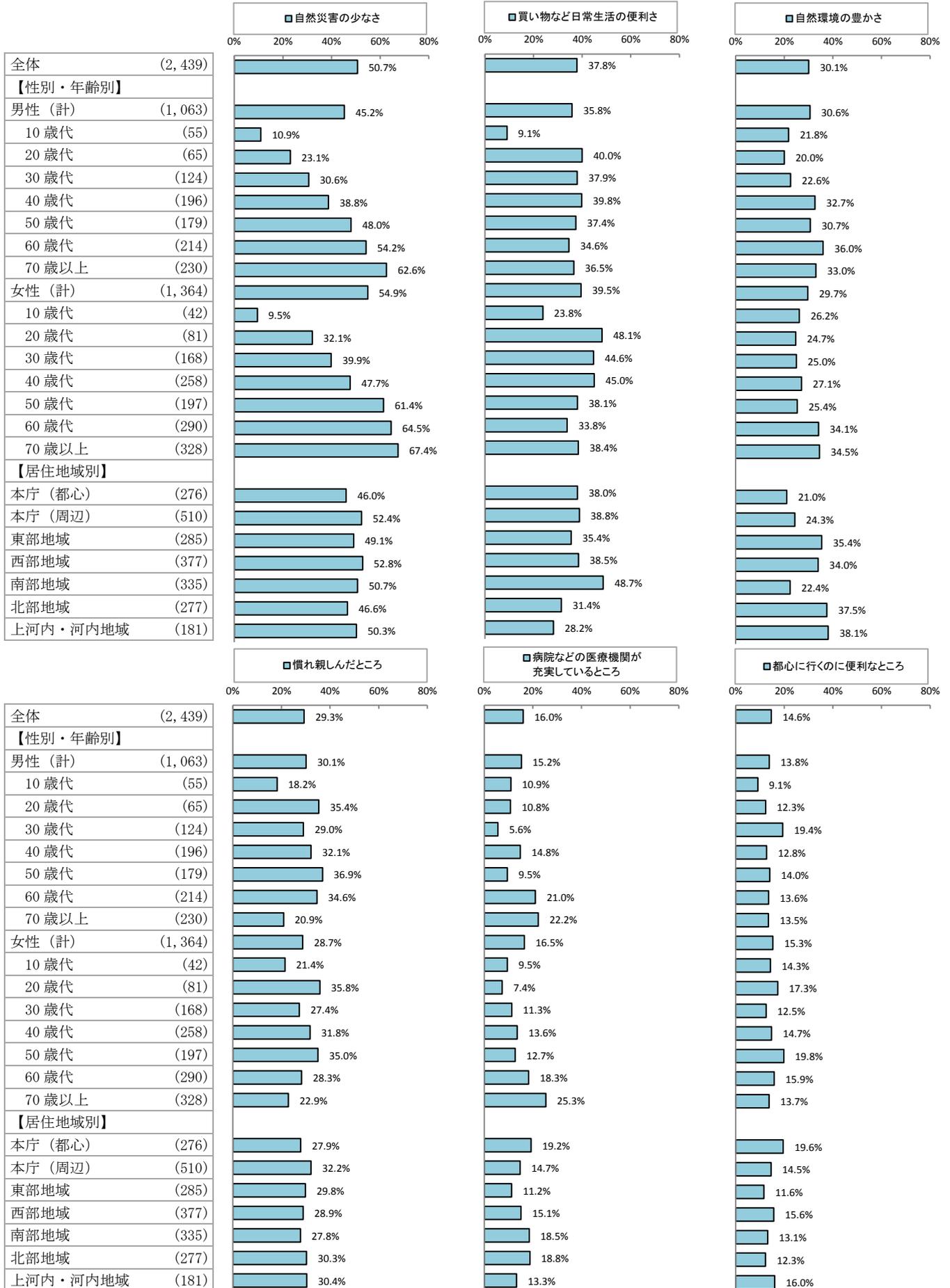
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で50.7%、2位「買い物など日常生活の便利さ」で37.8%、3位「自然環境の豊かさ」で30.1%、4位「慣れ親しんだところ」で29.3%、5位「病院などの医療機関が充実しているところ」で16.0%、6位「都心に行くのに便利なところ」で14.6%という順であった。(図IV-1-5)

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<女性/70歳以上>が67.4%で最も高く、次いで<女性/60歳>が64.5%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は<女性/20歳代>が48.1%で最も高かった。「自然環境の豊かさ」は<男性/60歳代>が36.0%で最も高く、「慣れ親しんだところ」は<男性/50歳代>が36.9%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<女性/70歳以上>が25.3%、「都心に行くのに便利なところ」は<女性/50歳代>が19.8%で最も高かった。(図IV-1-6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は、各地域で4割半ばから5割強となっているが、<西部地域>が52.8%で最も高く、「買い物など日常生活の便利さ」は<南部地域>が48.7%、「自然環境の豊かさ」は<上河内・河内地域>が38.1%、「慣れ親しんだところ」は<本庁(周辺)>が32.2%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<本庁(都心)>が19.2%、「都心に行くのに便利なところ」は<本庁(都心)>が19.6%で最も高かった。(図IV-1-6)

その他の意見では、「都会・田舎のバランスが良い」「食べ物がおいしい」などがあつた。

<図IV-1-6>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別（上位6項目）

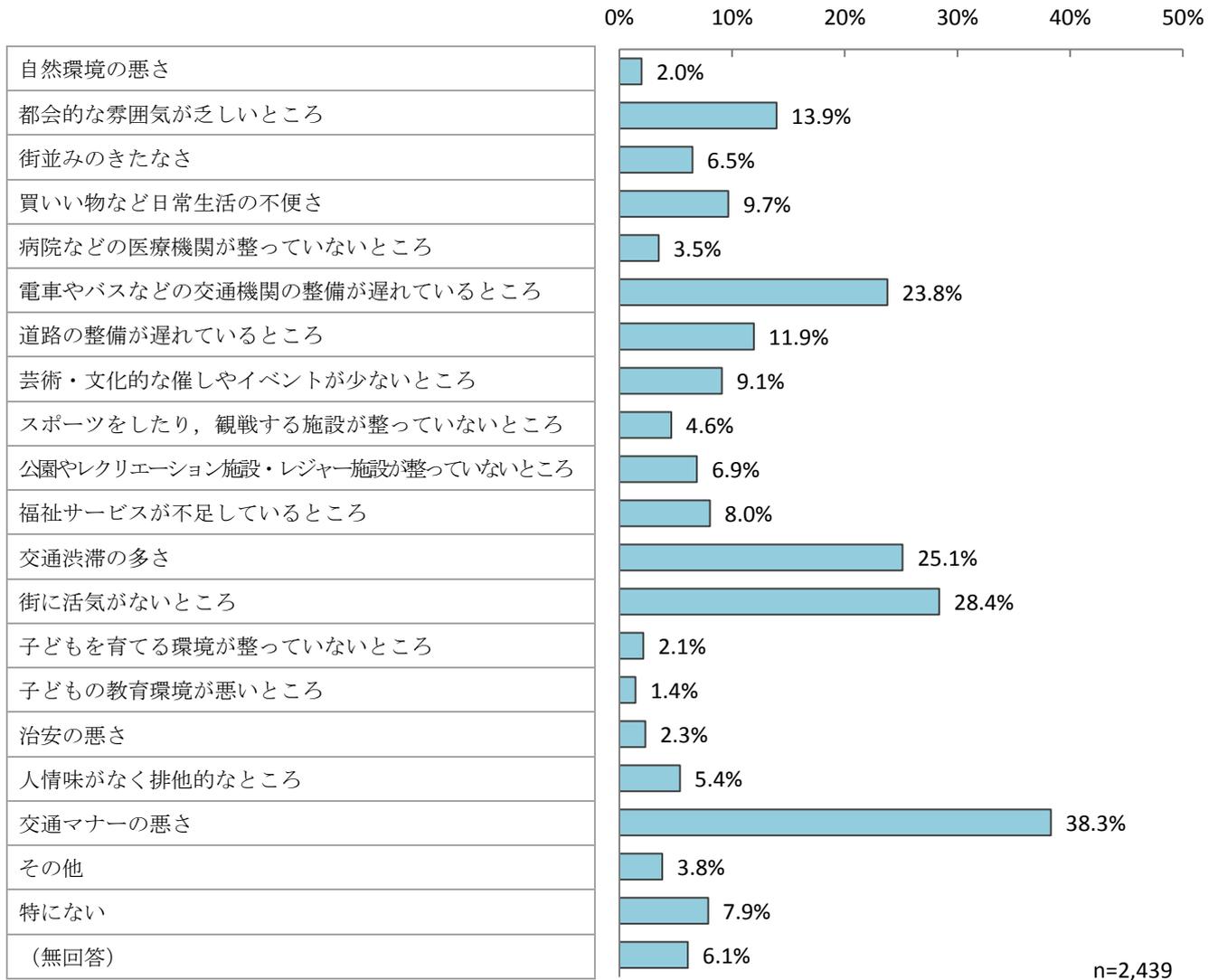


### (3) 嫌いな理由

#### ◇ 「交通マナーの悪さ」が4割弱

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,439
1	自然環境の悪さ	2.0%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	13.9%
3	街並みのきたなさ	6.5%
4	買い物など日常生活の不便さ	9.7%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	3.5%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	23.8%
7	道路の整備が遅れているところ	11.9%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.1%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	4.6%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	6.9%
11	福祉サービスが不足しているところ	8.0%
12	交通渋滞の多さ	25.1%
13	街に活気がないところ	28.4%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	2.1%
15	子どもの教育環境が悪いところ	1.4%
16	治安の悪さ	2.3%
17	人情味がなく排他的なところ	5.4%
18	交通マナーの悪さ	38.3%
19	その他	3.8%
20	特にない	7.9%
	(無回答)	6.1%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で38.3%、2位「街に活気がないところ」で28.4%、3位「交通渋滞の多さ」で25.1%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で23.8%、5位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で13.9%、6位「道路の整備が遅れているところ」で11.9%という順であった。(図IV-1-7)

性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<女性/20歳代>が46.9%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が45.7%であった。「街に活気がないところ」は<女性/70歳以上>が37.5%で最も高く、「交通渋滞の多さ」は<男性/30歳代>が41.9%で最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<女性/50歳代>が31.0%で最も高かった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<女性/10歳代>が19.0%で最も高かった。「道路の整備が遅れているところ」は<男性/70歳以上>が17.4%で最も高かった。(図IV-1-8)

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<西部地域>が41.1%で最も高かった。「街に活気がないところ」は<本庁(都心)>が33.0%で最も高く、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が31.9%で最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が31.9%で最も高かった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<本庁(周辺)>が15.5%で最も高かった。「道路の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が16.0%で最も高かった。(図IV-1-8)

その他の意見では、「公共交通(バス、LRTなど)や道路整備に対する不満」「行政に対する不満」「街並みに対する不満」「施設不足」「税金・公共料金が高い」などがあった。

